

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
IRIS+BV	28日間	中等度催吐性リスク(アプレピタント併用)

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
S-1	S-1投与量に準ずる	2×朝・夕食後																														
アプレピタント125mg	1cp	1×化学療法60～90分前	●																													
アプレピタント80mg	1cp	1×朝		●	●																											
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	パロノセトロン デキサメタゾン	0.75mg/50mL 6.6mg	メイン	15分	●														●													
2	ベバシズマブ* 生理食塩液	5mg/kg 100mL	メイン	1時間30分	●														●													
3	イリノテカン** 5%ブドウ糖	100mg/m ² 250mL	メイン	1時間30分	●														●													
4	生理食塩液	50mL	メイン	全開	●														●													

*初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行ってもよい。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与可能。

**UGT1A1変異の有無を確認。